

仕訳入力

消費税に関する仕訳入力を説明します。

消費税区分と税率コード

仕訳入力を効率的にするため、消費税区分、税率コード、業種コードは仕訳に自動的に入力されます。必要に応じて、仕訳入力や仕訳訂正時に変更することもできます。

【IKX】の場合

科目（補助科目）マスターの設定

借方消費税区分

貸方消費税区分

表示科目名	借	貸
車両運搬具	41	11

科目（補助科目）マスターに設定された消費税区分が自動的にセットされます。仕訳入力時に変更できます。込／抜は、入力環境設定に従います。

仕訳入力

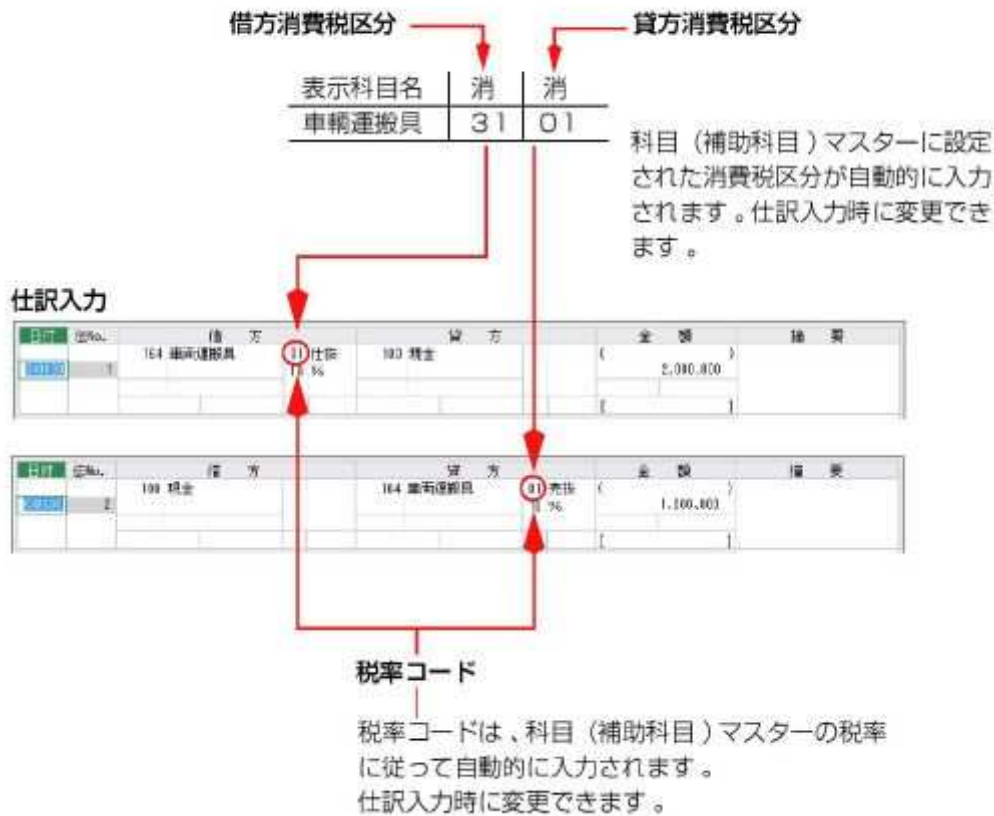
税率コード

税率コードは、科目（補助科目）マスターの税率に従って自動的にセットされます。仕訳入力時に変更できます。

財務応援 R4 Premiumで、財務応援Aiシリーズからコンバートしたデータをお使いの場合も、【IKX】と同様になります。

【顧問・応援】の場合

科目（補助科目）マスターの設定



仕入税額控除を受けるための記載事項とシステムの入力項目

仕入税額控除を受けるための記載事項とシステムの入力項目は次の通りです。

帳簿の記載事項	入力項目
課税仕入れの相手方の氏名又は名称	摘要または科目（補助科目）
取引年月日	日付
取引の内容	仕訳（借方／貸方）、摘要（商品名等）
対価の額	金額
軽減税率の対象品目である旨	税区・税率*1

*1 科目（補助科目）マスターの設定に従って自動的にセットされます（変更可）。

簡易課税の業種コード

会社基本情報で設定した業種コードが自動的に設定されます。

複数業種の場合は、科目（補助科目）マスター設定で科目ごとに業種を設定できます。業種コードを個別に設定した科目は、仕訳入力時に業種を変更できます。

会社基本情報の設定

- ①「簡易課税」を選択
 ②会社の業種区分を選択する
 ③業種が複数に分類される場合は、科目別に業種区分を設定する
 (例1) 車輦運搬具に業種「4」を設定した場合
 (例2) 車輦運搬具に業種を設定しなかった場合

仕訳入力【IKX】の場合

日付	伝票No.	借方	貸方	金額	備 考
6.10	3	111 売掛金	2 商品売上高	12,000	
				税 10 %	4 車

日付	伝票No.	借方	貸方	金額	備 考
8.10	5	111 売掛金	2 商品売上高	12,000	
				税 11 %	

仕訳入力【応援・顧問】の場合

日付	伝票No.	借方	貸方	金額	備 考
10.10	8	111 売掛金	810 商品売上高	12,000	
				税 10 %	4 車

日付	伝票No.	借方	貸方	金額	備 考
10.10	8	111 売掛金	910 商品売上高	12,000	
				税 10 %	

入力画面

仕訳入力・訂正時の、消費税区分、税率コード、業種（簡易課税の場合）の変更操作について説明します。

単一振替画面

【IKX】の場合

日付	伝票No.	借方	貸方	金額	備 考
6.10	1	114 車輦運搬具	41 現金	2,000,000	
				税 11 %	

【顧問・応援】の場合

日付	記号	借方	貸方	金額	摘要
2018	1	164 顧問手数料	31 仕債 11 9%	2,100,100	
			100 現金		
					1

- 科目を入力すると、その科目に設定されている消費税区分等が自動的に設定されます。カーソルは消費税欄をとばして次の入力欄に移ります。
消費税区分等を変更したい場合は、[Tab] [←] [→] で、消費税欄にカーソルを戻して変更することができます。
- 業種区分は、会社基本情報で、「簡易課税」を選択して、個別に業種区分を設定した科目に関するのみ変更可能です。

消費税仕訳を自動作成するときは

消費税仕訳を自動作成するときは、次のように設定します。

- 会社基本情報の「消費税仕訳自動作成」を「する」に設定します。
- 消費税仕訳自動作成の対象となる仕訳は、消費税区分によります。

消費税区分（コード）

消費税仕訳の自動作成例（単一振替の場合）

仕訳を入力します。

日付	記号	借方	貸方	金額	摘要
2018	4	181 - 売掛金	310 - 2 商品売上高	801,001	
					税区 税目
					11 売掛 率 11 9% No

[Enter] を押します。次のように自動作成されます。

日付	記号	借方	貸方	金額	摘要
2018	4	181 - 売掛金	215 - 2 仮受消費税	84,001	
					税区 税目
					11 売掛 率 11 9% No

帳簿入力画面の場合は

帳簿入力画面では、次のようになります。

日付	記号	借方	貸方	金額	摘要
2018	215	215 - 仮受消費税	310 - 商品売上高	494,801,804	
					税区 税目
					11 売掛 率 11 9% No

帳簿入力画面では、現金、預金、流動資産、流動負債など、帳簿科目の消費税区分が0と設定されている場合に消費税仕訳の自動作成が行われます。

会社基本情報が「課税業者」「試算表出力区分 税抜き」で、帳簿科目が課税課目の場合は、税込み金額と消費税額が表示されます。

消費税区分等を変更したい場合は、クリックまたは[Tab] [←] [→] で、消費税欄にカーソルを移動してから変更してください。

消費税区分、税率、業種の一括変換

入力メニューの「仕訳検索・仕訳変換」の仕訳変換機能を使うと、入力済み仕訳の消費税区分等を一括変換することができます。誤った設定で大量に入力してしまった場合に便利です。

[仕訳検索・仕訳変換](#)

[先頭へ戻る](#)

FG020020

仕訳例 【IKX】

仕訳の入力例を紹介します。参考にしてください。

売上

商品を現金で売り上げた仕訳例

税抜き仕訳

借方	貸方	消費税区分	金額
現金	商品売上高	11：課税売上（抜）	700,000
現金	仮受消費税	11：課税売上（抜）	70,000

税込み仕訳

借方	貸方	消費税区分	金額
現金	商品売上高	11：課税売上（込）	770,000

22条の例

借方	貸方	消費税区分	金額
現金	商品売上高	04：課税売上（22条）	700,000
現金	仮受消費税	04：課税売上（22条）	70,000

仕入

商品を現金で仕入れた仕訳例

税抜き仕訳

借方	貸方	消費税区分	金額
商品仕入高	現金	41：仕入対課税（抜）	500,000
仮払消費税	現金	41：仕入対課税（抜）	50,000

税込み仕訳

--	--	--	--

借方	貸方	消費税区分	金額
商品仕入高	現金	41：仕入対課税（込）	550,000

22条の例

借方	貸方	消費税区分	金額
商品仕入高	現金	33：仕入対課税（22条）	500,000
仮払消費税	現金	33：仕入対課税（22条）	50,000

費用

課税売上の事業のために、消耗品を1,000 円で購入、また非課税売上の事業のために事務消耗品を2,000円で購入、課税・非課税の共通の事業に使用する機械の修理費3,000円を支払う仕訳例

税抜き仕訳

借方	貸方	消費税区分	金額
消耗品費	現金	41：仕入対課税（抜）	1,000
仮払消費税	現金	41：仕入対課税（抜）	100
事務消耗品	現金	42：仕入対非課税（抜）	2,000
仮払消費税	現金	42：仕入対非課税（抜）	200
修理費	現金	43：仕入共通（抜）	3,000
仮払消費税	現金	43：仕入共通（抜）	300

税込み仕訳

借方	貸方	消費税区分	金額
消耗品費	現金	41：仕入対課税（込）	1,100
事務消耗品	現金	42：仕入対非課税（込）	2,200
修理費	現金	43：仕入共通（込）	3,300

22条の例

借方	貸方	消費税区分	金額
消耗品費	現金	33：仕入対課税（22条）	1,000
仮払消費税	現金	33：仕入対課税（22条）	100

事務消耗品費	現金	61：仕入対非課税（22条）	2,000
仮払消費税	現金	61：仕入対非課税（22条）	200
修理費	現金	45：仕入共通（22条）	3,000
仮払消費税	現金	45：仕入共通（22条）	300

税抜き仕訳 軽減税率

借方	貸方	消費税区分	税率	金額
新聞代（定期購読）	普通預金	41：仕入対課税（抜）	81：8%（国地／軽減）	10000
仮払消費税	普通預金	41：仕入対課税（抜）	81：8%（国地／軽減）	800

税込み仕訳 軽減税率

借方	貸方	消費税区分	税率	金額
新聞代（定期購読）	現金	41：仕入対課税（込）	81：8%（国地／軽減）	10800

売上の返品・値引き・割戻し

売り上げた商品のうち、110,000円が返品となった仕訳例

返品・値引き勘定として「売上高」を使う場合も、次のように「21 課税売上返還」の消費税区分を入力してください。

税抜き仕訳

借方	貸方	消費税区分	金額
売上値引・戻り高	売掛金	21：課税売上返還（抜）	100,000
仮受消費税	売掛金	21：課税売上返還（抜）	10,000

税込み仕訳

借方	貸方	消費税区分	金額
売上値引・戻り高	売掛金	21：課税売上返還（込）	110,000

22条の例

借方	貸方	消費税区分	金額
売上値引・戻り高	売掛金	15：課税売上返還（22条）	100,000
仮受消費税	売掛金	15：課税売上返還（22条）	10,000

仕入の返品・値引き・割戻し

仕入れた商品のうち、110,000円を返品した仕訳例

税抜き仕訳

借方	貸方	消費税区分	金額
買掛金	仕入値引・戻し高	51：仕入対課税返還（抜）	100,000
買掛金	仮払消費税	51：仕入対課税返還（抜）	10,000

税込み仕訳

借方	貸方	消費税区分	金額
買掛金	仕入値引・戻し高	51：仕入対課税返還（込）	110,000

貸し倒れ

売掛金110,000円について貸し倒れが発生した仕訳例

借方	貸方	消費税区分	金額
貸倒損失	売掛金	31：課税貸倒損失（込）	110,000

貸倒回収

前の例で、貸倒損失の一部を回収できた場合の仕訳例

借方	貸方	消費税区分	金額
現金	貸倒損失	32：課税貸倒回収（込）	24,000

有価証券の譲渡

有価証券を譲渡した場合は、その対価の額の5%は非課税、95%は課税対象外となります。消費税区分「10有価証券売却」を使用すると、入力金額の5%が非課税売上として自動集計されます。

簿価80,000円の有価証券を100,000円で売却、売却益20,000円が発生

借方	貸方	消費税区分	金額
当座預金	有価証券	10：有価証券売却	80,000
当座預金	有価証券売却益	10：有価証券売却	20,000

簿価80,000円の有価証券を50,000円で売却、売却損30,000円が発生

借方	貸方	消費税区分	金額
当座預金	有価証券	10：有価証券売却	50,000
有価証券売却益	有価証券	80：不課税売上	30,000

輸入取引

輸入取引については、国内取引とは区別して次のように入力します。

税抜き仕訳（課税売上用仕入の場合）**国税分と地方税分を分けて入力する場合**

借方	貸方	消費税区分	金額	備考
仕入高	当座預金	81：不課税仕入	1,000,000	取引発生時
仮払消費税	現金	74：輸入対課税	78,000	国税
仮払消費税	現金	77：輸入地方税 （対課税）	22,000	地方税

国税分と地方税分の合計額を入力する場合

借方	貸方	消費税区分	金額	備考
仕入高	当座預金	81：不課税仕入	1,000,000	取引発生時
仮払消費税	現金	91：輸入国地税 （対課税）	100,000	国税＋地方税

消費税申告書や関係帳票では、国税分と地方税分が次のように自動計算されます。

国税分（7.8%）＝（仮払消費税の金額×7.8）÷10（小数点以下四捨五入）

地方税分（2.2%）＝仮払消費税の金額－国税分

税込み仕訳（課税売上用仕入の場合）

国税分と地方税分を分けて入力する場合

借方	貸方	消費税区分	金額	備考
仕入高	当座預金	81：不課税仕入	1,000,000	取引発生時
仕入高	現金	54：輸入国税込 (対課税)	78,000	国税
仕入高	現金	57：輸入地税込 (対課税)	22,000	地方税

国税分と地方税分の合計額を入力する場合

借方	貸方	消費税区分	金額	備考
仕入高	当座預金	81：不課税仕入	1,000,000	取引発生時
仕入高	現金	94：輸入国地込 (対課税)	100,000	国税＋地方税

消費税申告書や関係帳票では、国税分と地方税分が次のように自動計算されます。

国税分（7.8％）＝（仮払消費税の金額×7.8）÷10（小数点以下四捨五入）

地方税分（2.2％）＝仮払消費税の金額－国税分

有形固定資産の購入・売却

乗用車の購入・売却例

購入

借方	貸方	消費税区分	金額
車両運搬具	当座預金	41：仕入対課税（抜）	2,000,000
仮払消費税	当座預金	41：仕入対課税（抜）	200,000

売却して固定資産売却益が発生したとき

乗用車を売却して固定資産売却益が発生したときの仕訳例です。

借方	貸方	消費税区分	金額
当座預金	車両運搬具	11：課税売上（抜）	1,000,000
当座預金	仮受消費税	11：課税売上（抜）	100,000
当座預金	固定資産売却益	11：課税売上（抜）	300,000
当座預金	仮受消費税	11：課税売上（抜）	30,000

売却して固定資産売却損が発生したとき

乗用車を売却して固定資産売却損が発生したときの仕訳例です。消費税が両建てとなるため、諸口で入れます。

借方	貸方	消費税区分	金額
当座預金	車両運搬具	11：課税売上（抜）	1,000,000
当座預金	仮受消費税	11：課税売上（抜）	100,000
固定資産売却損	諸口	81：不課税仕入	300,000
諸口	車両運搬具	80：不課税売上	300,000

リバースチャージ仕訳

特定課税仕入れの仕訳は仮払消費税を使用せずに入力します。

- 帳簿等に記載すべき事項（相手の氏名又は名称等）は、摘要へ入力します。
- 「登録国外事業者」から受けた「消費者向け電気通信利用役務の提供」は通常の課税仕入で処理してください。その場合、摘要に登録番号を入力します。
- 伝票集計時に課税売上割合が95%以上の場合は、特定課税仕入れの取引は集計されません。95%未満の場合は、特定課税仕入の計算が行われます。

国内事業者が広告宣伝費を国外事業者に支払った場合

支払時に消費税を認識しない場合

- 特定課税仕入

借方	貸方	消費税区分	金額
広告宣伝費	当座預金	40：特定課税仕入(共通)	1,000,000

- 特定課税仕入の返還

借方	貸方	消費税区分	金額
当座預金	広告宣伝費	70：特定課税仕入返還(共通)	1,000,000

支払時に仮勘定で消費税を認識する場合

支払時に消費税を認識する場合は、仮払金、仮受金等に消費税区分を付けずに仕訳を入力します。

- 特定課税仕入

借方	貸方	消費税区分	金額
広告宣伝費	当座預金	40：特定課税仕入(共通)	1,000,000

仮払金	仮受金	00：対象外	100,000
-----	-----	--------	---------

決済時に逆の仕訳を入力して、相殺します。

仮受金 100,000 / 仮払金 100,000

- 特定課税仕入の返還

借方	貸方	消費税区分	金額
当座預金	広告宣伝費	70：特定課税仕入返還(共通)	1,000,000
仮受金	仮払金	00：対象外	100,000

決済時に逆の仕訳を入力して、相殺します。

仮払金 100,000 / 仮受金 100,000

消費税を確定する仕訳

仮払消費税・仮受消費税で処理した消費税については、課税期間の消費税額が確定した時点で、次のような仕訳を入力してください。

申告前・納付

税抜き処理（仮受消費税880,000、仮払消費税800,000）

借方	貸方	消費税区分	金額
仮受消費税	諸口	80：不課税売上	880,000
諸口	仮払消費税	81：不課税仕入	800,000
諸口	未払金	00：対象外	80,000

税込み処理

借方	貸方	消費税区分	金額
租税公課	未払金	81：不課税仕入	80,000

申告前・還付

税抜き処理（仮受消費税850,000、仮払消費税1,000,000）

借方	貸方	消費税区分	金額
仮受消費税	諸口	80：不課税売上	850,000
諸口	仮払消費税	81：不課税仕入	1,000,000

未収入金	諸口	00：対象外	150,000
------	----	--------	---------

税込み処理

借方	貸方	消費税区分	金額
未収入金	雑収入	80：不課税売上	150,000

申告後・納付

借方	貸方	消費税区分	金額
未払金	現金	00：対象外	80,000

申告後・還付

借方	貸方	消費税区分	金額
現金	未収入金	00：対象外	150,000

[先頭へ戻る](#)